



総監督・作曲 伴谷晃二

日本とフランスの 友好と創造の祭典

司会 俊山真美



トーク & コンサート
伝統と現代の響奏

— 廿日市市 & モン・サン＝ミッシェル市 —

2025 年 10 月 18 日(土) 13:30 開演(開場 13:00)

＊はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ小ホール 廿日市市下平良1-11-1
TEL.0829(20)-0111

奉納神楽

伊勢神社神楽団(廿日市市)
演目「三鬼神」



伊勢神社神楽団



ピアノ
伴谷真知子



バイオリン
川辺 梓



ピアノ
吉村麻依子



サクソフォン
前田悠貴

フランスの音楽

ピアノ 伴谷真知子/バイオリン 川辺 梓

◆フランスの作品 ピアノ独奏曲

バイオリンとピアノ曲

ピアノ 吉村麻依子/サクソフォン 前田悠貴

◆日本の現代作品

ドビュッシー作曲「プレリュード」「月の光」

(ベルガマスク組曲より)

ラヴェル作曲「亡き王女のためのパヴァーヌ」

マスネ作曲「タイスの瞑想曲」

伴谷晃二作曲「MIYAJIMA へのオマージュ

サクソフォンとピアノのために」

日本の伝統音楽

尺八 福田輝久/三味線 杵屋子邦

◆伝統音楽作品

尺八本曲「吾妻の曲」/三味線独奏 杵屋六三郎作曲「瀧流しの合方」

◆日本の現代作品

伴谷晃二作曲「アナカプリの回想、尺八と三絃のために」

フランス人奏者による日本の伝統音楽

フィリップ聖韻コーサード/カガン空悟聖存

◆フランスの尺八道について

◆琴古流尺八本曲「鹿の遠音」より
「鹿恋慕」(福田輝久編曲)



尺八 フィリップ
聖韻コーサード



三味線
杵屋子邦



尺八 福田輝久



尺八 カガン
空悟聖存

[入場料] (全席自由) 一般 3,000 円(当日 3,500 円) 学生(小中高) 2,000 円(当日 2,500 円) ペア 5,000 円(当日 5,500 円)

[チケット] チケットぴあ(Pコード: 298-463 <https://t.pia.jp>) ローソンチケット(Lコード: 61579 <https://l-tike.com>)

エディオン広島本店 ウッドワンさくらびあ事務室(さくらびあ会員 100 円引き)

[主催] (一社)ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト

[共催] (公財)廿日市市芸術文化振興事業団

[協力] ひろしま国際平和文化祭(連携イベント) 広島日仏協会 廿日市商工会議所

[助成] (公財)毎川日仏財団 (公社)企業メセナ協議会・助成認定制度

[後援] 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 広島県 広島県教育委員会 広島市・広島市教育委員会 廿日市市・廿日市市教育委員会

(公財)広島市平和文化センター 広島日仏協会 廿日市商工会議所 中国新聞社 朝日新聞広島総局 HHK 広島放送局 中国放送 広島テレビ

広島ホームテレビ テレビ新広島 広島エフエム放送 FM はつかいち 76.1MHz (一社)広島県観光連盟 (一社)はつかいち観光協会 (一社)宮島観光協会

[協賛] (申請中) (医)エム・エム会 (株)サンモール (株)シブヤ (株)デリカウイング 広島アンデルセン 広島八谷建設(株)

(医)みやうち/(公財)みやうち芸術文化振興財団 (医)八千代会・八千代病院/メリィハウスグループ (株)やまだ屋 (6月1日現在)

[お問い合わせ] (一社)ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト事務局(TEL.0829-38-2264/携帯 090-1359-0215 9:00-17:00)

* 障がい席(介助者席)はお問い合わせください。* 未就学児のご入場はご遠慮ください。

ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト Hiroshima Music Project

(一社)ヒロシマ・ミュージック・プロジェクトは、本公演を通して、“多文化社会と共生”の理念のもとに、このようなシリーズを毎年ヒロシマから東アジアへ、さらに世界へと発信し、音楽を通じた連携を深めてまいりました。またこのような公演を G7 広島サミットに続いて広島で開催し、広く広島県民・市民をはじめ世界の国々の文化・芸術の振興と発展に寄与し貢献できればと思います。「第2回日仏文化交流コンサート 2025in さくらびあく 日本とフランスの友好と創造の祭典」>」を通して、ヒロシマ・ミュージック・プロジェクトのアクティブな活動とともに、<ヒロシマ>から“核兵器廃絶と平和への希求”の願いを込めて“鎮魂と再生と復興”を、ヒロシマから東アジア地域や世界へと発信し祈念申し上げます。



作曲・総監督
伴谷晃二

広島県生まれ。国立音楽大学大学院修了後、パリ・エコール・ノルマル音楽院卒業。O.メシアン他に師事。エリザベト音楽大学名誉教授、中国・四川音乐学院他客員教授、広島交響楽協会理事。'98年「文化庁芸術祭優秀賞」受賞。「ISCM-ACL(国際現代音楽協会—アジア作曲家連盟共催入選。」「Music from Japan 2007 in U.S.A.」入選。2015年「ヒロシマの詩VI、クラリネット、打楽器、弦楽オーケストラのために」(ハノーバー市委嘱他)。「東アジア音楽祭 in 2009-2025」音楽監督。2009,2010,2018 年「平和の舞—鎮魂と再生—ひろしま神楽とくおろち、神楽とオーケストラの協演>」(総監督/企画・構成・作曲;秋山和慶指揮広島交響楽団、北広島町合同神楽団)。2009年「広島市民賞」受賞。

第1部 奉納神楽



団長 竹本政博

伊勢神社神楽団(廿日市市)
伊勢神社神楽団は、廿日市市原地区に伝わる十二神祇神楽を、原神楽の名称で伝承しています。毎年、氏神である伊勢神社へ神楽舞を奉納しています。平成 24 年に県無形民俗文化財に指定されました。

第2部 フランスの音楽



ピアノ 伴谷真知子

国立音楽大学卒業後、フランス留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏家ディプロム取得。NHK「FMリサイタル」出演。ソロリサイタル、アンサンブル等で活躍中。韓国・台湾・中国での国際現代音楽フェスティバルやコンサートに度々出演。CD「伴谷真知子ドビュッシー&サティを弾く」をリリース。現在(公社)日本演奏連盟会員。中国・内モンゴル師範大学客員教授。(一社)ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト理事。



サクソフォン 前田悠貴

エリザベト音楽大学卒業。同大学卒業演奏会、日本サクソフォン協会主催第 7 回新人演奏会、第 26 回ヤマハ管楽器新人演奏会の他多数の新人演奏会に出演。新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ第 12 回(広島)において、広島交響楽団と共演。広島ウインドオーケストラ首席コンサートマスター。エリザベト音楽大学非常勤講師



ピアノ 吉村麻依子

エリザベト音楽大学を総代で卒業。同大学院を優秀な成績で修了、修士号取得。世代を超えて楽しめるコンサート等の企画やプロデュースに努めながら、幅広く演奏活動を行う。「東アジア音楽祭 in ヒロシマ」「さくらびあ音楽の広場」2017—2020 等で好評を博す。おきむらピアノ・リトミック教室講師。Mai mai music company 主宰。



バイオリン 川辺 梓

福岡県出身。くらしき作陽大学音楽学部卒業。デュオや室内楽、広島交響楽団客演など、広島を拠点に演奏活動を行っており、後進の指導にもあたっている。

★ さいわい文化ホール ウッドワンさくらびあ

広電宮島線「廿日市市役所前」下車徒歩 7 分

JR 山陽本線「宮内串戸」下車徒歩 15 分

*都合により、プログラムが変更になることもございます。ご了承ください。

<コンセプト> Concept

本公演は、「日仏文化交流コンサート 2018in さくらびあ」のシリーズをなすもので、日本の伝統音楽の第一人者である尺八の福田輝久と三味線の杵屋子邦を中心として、フランスの尺八道場からダニエル・聖息、リフェルマンとジャン・マリ・フィューを迎えてのレクチャー&コンサートを開催いたしました。

廿日市市とモン・サン＝ミッシェル市とは観光友好都市として提携されており、宮島とモン・サン＝ミッシェルとは聖地として世界遺産にも登録され歴史的にも伝統文化の上でもよく知られたところです。

今回は、福田輝久師から尺八師範を伝授された Philippe 聖韻 CAUSSADE と Khgan 聖存 KUGO のお二人を招聘し、日本の伝統文化を継承する卓越した舞台を披露するものです。また、今年は被爆 80 年としてヒロシマから世界へと[平和と文化を希求する連携の輪]が拡充されることを祈念申し上げます。

第3部 日本の伝統音楽



尺八 福田輝久

2002 年フランスにて丹波明(故)杵屋子邦と共に「伝統と刷新」をテーマに邦楽聖会を結成。両国を中心に活動。トルコテレビ TRTWORLD は音楽ドキュメンタリー番組を制作。中国 CCTV ドキュメンタリー番組「国宝音楽会」に招待演奏。国内外のオーケストラ、中国、香港、台湾、韓国の民族オーケストラとの共演。フランス、ドイツ、スイス、アメリカ、中国において CD リリース。演奏と指導は幅広い。



三味線 杵屋子邦

2002 年フランスにて丹波明、福田輝久と共に「伝統と刷新」をテーマに邦楽聖会を結成。両国を中心に活動。トルコテレビ TRTWORLD は音楽ドキュメンタリー番組を制作。中国 CCTV ドキュメンタリー番組「国宝音楽会」に招待演奏。アメリカカナダリサイタルツアー、中国、香港、台湾、韓国での音楽祭また民族オーケストラと共演、フランス OCORA より CD リリース。

第4部 フランスの尺八奏者による日本の伝統音楽



フィリップ聖韻
コサード

Philippe 聖韻
CAUSSADE

尺八奏者、作曲家、編曲家、多様な楽器演奏者。クラシックピアノの研鑽を経て、さまざまな楽器を独学で習得。武道にも精通し、松濤会空手道で黒帯を取得、新体道や剣武天真流も学ぶ。1994 年より北フランスやパリで打楽器、ギター、メロディカなどによる演奏活動を開始。2010 年より福田輝久、ダニエル・聖息、リフェルマンに尺八を師事し、以降は尺八を中心に活動する。2018 年カガン聖存との共演、2019・2023 年に福田輝久主催・聖会学校でのコンサートに出演。2021 年には JAL 東京〜パリ便 60 周年記念式典で演奏。2022 年の地味開校記念公演(宮崎美恵子・ラグロ主宰)、2022・2023 年の日本昔話の朗読との共演など、箏奏者エレーヌ・デュボワとの共演を重ね、日仏の文化交流に広く携わっている。2024 年、福田輝久より大師範の称号を授与され、現在では演奏・創作・指導を通じて、音楽と身体表現の融合を追求している。



カガン空吾聖存
KHAGAN
KUGO SEISON

演出家・俳優・ダンサー・音楽家・マスクメーカー(仮面製作者)
Cie K (ciek.fr) と共に活動するアーティストユニット「ARTIFICATE」所属。1975年から1979年にかけて応用美術を学び、家具およびインテリア建築を専攻。同時に絵画の研究を進め、李雄魯(イ・ウンノ)に師事して韓国書道を学ぶ。こうした造形的な探求を経て、1977 年にエルザ・ウォリアストンのもとでダンスを始める。その後、パリ、インド、アフリカ諸国、日本、ヌナブトなどへの多くの研修旅行と幅広い芸術的実践を通じて、芸術監督および舞台演出家としての独自のアプローチを築く。現在の子的な関心領域は、可用性(アヴァイラビリティ)の概念、素材、イメージ、身体的な音楽性、そして有機的記憶である。カンパニー Cie K のアーティストディック・ディレクターおよび舞台演出家として活動している。

